

ユニアデックス、ネットマークス 「インフラトータルサービス企業」を目指し、合併統合

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）は、日本ユニシスグループのユニアデックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：入部 泰、以下 ユニアデックス）と、株式会社ネットマークス（本社：東京都江東区、社長：佐藤 宏、以下 ネットマークス）を、2014 年 3 月 1 日付けで合併統合します。存続会社はユニアデックスです。

【背景】

ICT 技術の進展は情報化社会を次の世代へとシフトさせています。企業を始めとする ICT のユーザーは、「クラウド」「モビリティ」「ソーシャル」「ビッグデータ」などを活用することで、マーケティング／販売や研究開発、製造やサービスなどあらゆる場面で新たな展開を図ろうとされています。これらの動きは ICT サービスプロバイダーに対し、ICT の要素である「サーバー」「ネットワーク」「デバイス」などを統合的に取り扱い、企画・構築から運用・保守までトータルにサービスすることを求めています。

日本ユニシスグループは、グループの ICT インフラ、クラウドおよびネットワークの技術資産を結集し連携を高めることで、この多様で高度な情報基盤を求める顧客ニーズに対応していきます。新年度におけるスタートダッシュを期して、3 月 1 日に統合を実施します。

【新会社の業容】

これにより、新生ユニアデックスは、社員数約 3,200 名、売上高約 1,300 億円規模、そして国内 180 拠点、提携先を含めて 130 カ国以上の海外拠点を持つ企業となり、ICT インフラ領域を主戦場とする情報サービス業の中でもトップクラスの業容となります。

【新会社による顧客提供価値の拡大】

新生ユニアデックスは、新次元のサービス（グローバルに最新テクノロジーを最適化し、均一かつ日本品質で提供する総合インフラサービス）を提供する総合的な企業、「インフラトータルサービス企業」になります。

(1)インフラトータルサービス

新生ユニアデックスのお客さまは、現ユニアデックスのマルチベンダー／マルチレイヤーの幅広いサービスとネットマークスの高度なネットワークインテグレーションサービスを同時に、かつシームレスに利用いただくことができます。

(2)新たなソリューションサービス

両社の技術を融合し、新たなソリューションサービスを創出していきます。

複数のクラウドサービス利用を支援する「クラウドフェデレーションサービス」や「クラウド対応運用サービス」など、クラウド分野を中心に幅広いサービスを提供し、お客さまの ICT 活用の高度化を支えていきます。

(3)グローバルサポートサービス

現ユニアデックス／ネットマークスの全国保守網＋ネットマークスのアジア拠点＋米国ユニシスコーポレーションのワールドワイド拠点をベースとした、日米欧亜全世界均一のサービス網を確立し、お客さまのグローバルビジネス戦略の重要性がますます高まる中で、その ICT インフラをサポートしていきます。

【日本ユニシスグループとしての展開】

日本ユニシスグループは、「サービスアグリゲーター」への進化を目指しております。そのために、従来からのビジネスに加え、お客さまの価値向上に寄与するアプリケーションの構築や社会基盤ビジネスの推進、マーケティングプラットフォームの展開を図っていきます。
今回の取組みは、その土台を拡張することとなり、グループ全体の展開力を強化するものとなります。

＜新生ユニアデックスの概要＞

- | | |
|---------------|--|
| (1) 商号 | ユニアデックス株式会社 |
| (2) 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">・情報／通信システム構築に係わる企画／設計／開発の受託・コンピューターシステムの運用／管理の受託・ハードウェア／ソフトウェアの販売／賃貸ならびにソフトウェアの開発・コンピューターシステムの構築、導入、利用およびソフトウェア開発に関する情報ならびにサービスの提供・コンピューターシステムの保守サービス・コンピューターの関連機器、付属品の開発／製造ならびに販売・電気工事および電気通信工事の請負／設計／施工ならびに監理・電気通信事業法に定める電気通信事業・医療関連コンピューター機器の販売・賃貸および保守サービス |
| (3) 設立年月日 | 1997 年 3 月 4 日 |
| (4) 本店所在地 | 東京都江東区 |
| (5) 代表者 | 代表取締役社長 入部 泰 |
| (6) 資本金 | 7 億 5,000 万円 |
| (7) 決算期 | 3 月 |
| (8) 大株主及び持株比率 | 日本ユニシス株式会社 (100%) |

【用語解説】

「クラウドフェデレーションサービス」

ワークスタイルの変革、機動力確保などの観点で、今後、企業ではオンプレミス環境とクラウドサービスを併用するハイブリッドの利用形態が主流となる。このとき、利用者と各クラウドサービスの間に位置し、データ連携・分散配置・マスターデータ管理・ジョブ自動実行・認証/アカウント連携などの機能を提供し、システムデザイン・プロビジョニング・運用を司る「クラウド連携サービス」として位置づけられる。

「クラウド対応運用サービス」

ハイブリッドクラウドでは、オンプレミス系とデータセンター系が混在し、運用管理は一段と高度なものになる。「クラウド対応運用サービス」は、このハイブリッドクラウドの場合においてもシームレスな運用を提供できるサービスとして位置づけられる。

以 上

※関連 URL：

「ユニアデックス」	http://www.uniadex.co.jp/
「ネットマークス」	http://www.netmarks.co.jp
「日本ユニシス」	http://www.unisys.co.jp

＜読者問い合わせ窓口＞

ユニアデックス株式会社 マーケティングコミュニケーション 齊藤
URL：<http://www.uniadex.co.jp> のお問い合わせフォームから

株式会社ネットマークス 企画管理部 経営企画室 神戸（ごうど）
URL：<http://www.netmarks.co.jp> のお問い合わせフォームから

<報道関係問い合わせ窓口>

ユニアドックス株式会社 マーケティングコミュニケーション 齊藤

電話：03-4579-1081 URL：http://www.uniadex.co.jp のお問い合わせフォームから

株式会社ネットマークス 企画管理部 経営企画室 神戸（ごうど）

電話：03-5144-1110 E-mail: press@netmarks.co.jp

日本ユニシス株式会社 広報部報道室 小林

電話：03-5546-7404 E-mail: i-box@unisys.co.jp